

# JRAT 活動報告書

2019年9月3日

|           |   |   |                              |                              |  |
|-----------|---|---|------------------------------|------------------------------|--|
| 都道府県      | 栃木県   | 報告者                                     | 理学療法士 山崎 俊                   |                              |  |
| 団体名称／参加団体 | 栃木 JRAT   |   |                              |                              |  |
| 実施内容      | <input type="checkbox"/> 組織化・連携   | <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 | <input type="checkbox"/> 訓練等 | <input type="checkbox"/> その他 |  |
| 実施日       | 2019年8月25日  | 実施場所                                    | 栃木県立リハビリテーションセンター            |                              |  |
| 概要        | <p>内容：<br/> 「災害リハビリテーションの実際」<br/> 湘南医療大学 理学療法学専攻 助教<br/> 神奈川県理学療法士会災害対策委員長 下田栄次先生</p> <p>・前半は、災害の基礎知識から災害時におけるリハビリテーション専門職の役割、各フェーズごとの活動内容を実際の活動場面の画像を交えながら講演いただいた。後半は職種間連携や本部活動運営等の平時からのシステム構築、人材育成の重要性を先生が所属されている神奈川県理学療法士会の活動実例を通してお話いただいた。</p> <p>参加人数 栃木県理学療法士会 31名<br/> 栃木県作業療法士会 14名<br/> 栃木県言語聴覚士会 7名<br/> 医師 1名<br/> 他士会会員 3名 計56名</p> |   |                              |                              |  |
| 所感        | 第1回よりも多くの方に参加していただいた。災害リハビリについて初めて知る方が多く、アンケート結果より参加してよかったという意見がほとんどであった。まだまだ災害リハビリテーションの認知度は低く、研修会等を通して継続した啓蒙活動が必要であると感じた。   |   |                              |                              |  |
| 今後の課題     | アンケート結果より事例検討による現地活動や本部運営といった演習への要望が多く聞かれた。研修会ごとに参加者が違うため、コース設定も視野に入れて知識の積み上げ、人材育成進めていく必要がある。   |   |                              |                              |  |
| 今後の活動予定   | 検討中   |   |                              |                              |  |

